

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

第23期 通常総会議案書

日時:2025 年 6 月 21 日 (土) 11:00~12:00

会場:特定非営利活動法人ふぉーらいふ(多目的室) / オンライン(GoogleMeet)

◇ご挨拶

◇議長及び議事録署名人の選出

◇定足数の確認

◇審議事項

第1号議案:2024 年度活動報告及び活動計算書について

第2号議案:2025 度活動計画及び活動予算書について

第3号議案:役員改選について

報告事項:

その他:

議長解任

閉会

2024 年度事業報告

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

総括

不登校状態にある児童・生徒が、法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」にもとづく体験学習活動などへ、主体的に参加した。また民間や自治体などの助成に申請し、自然体験活動や地域交流などを企画。学校外で学び育つ地域の子どもたちに向け、体験や学びの機会を提供した。

また、行政や福祉関係の場で設けられる、教育・不登校に関する施策提言の場へ参画し、情報発信に努め、不登校に対する地域社会の理解を深めるよう努めた。

また本年度も、外部からの講演依頼を受け、職員が登壇したほか、神戸市垂水区社会福祉協議会ならびに神戸市垂水区地域協働課との協働事業を通じて、当スクールならびに当法人が培ったノウハウなどを地域活動団体へ還元することで、謝金や委託費を得るなど、事業収入の多様化を図った。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

●フリースクール ForLife

毎週月・火・水・金に、フリースクール ForLife を実施した。

1. 自然体験・仕事体験の実施

神戸市青少年育成支援事業補助金による助成を受け、里山工房で自然体験活動を実施。学校外で学び育つ小・中学生の一般参加者と小学校低学年部あかてみあの子どもを含め、計31名が参加。

現地では、指導者のもとで、学校に行きづらい子どもたちが火起こしや木工作品作りを通して、道具の使い方、自然との共生などを学んだ他、豚汁作りや餅つきなど自然の中での料理体験も行った。



里山工房での自然体験

2. 地域行事への参加

5月・11月に地域行事に参加し、缶バッジ体験ブースを出展した。はじめは緊張して上手く接客できなかった子どもも、回数を重ねるごとに慣れていき、達成感を得ることが出来た。接客体験（職業体験）は子どもたちの成功体験となり、自信に繋がっている。



缶バッジ体験ブース

3. その他の活動について

2月にフリースクールの作品展と文化祭「仲間展」を実施。卒業生を含む 35 名が参加・来場した。作品展では、自分たちの作った作品を飾りつけし、お客様へ対応も含めて、子どもたち中心となって作り上げることができた。仲間展では、子どもたちが催し物のアイデア出しから行い、話し合いを重ねた。当日は缶バッジ作り、アイス屋さん、イラスト販売、手作りカレンダー販売、楽器演奏コーナーをそれぞれ子ど



仲間展 & 作品展

もたちが担当。大きな反響があり達成感を得ることができた。

●小学校低学年向けフリースクールあかでみあ

毎週木曜に、小学校低学年向けのフリースクールあかでみあを実施した。

1. 表現活動の実施

陶芸やごっこ遊び等の表現活動を好む子どもが多く在籍しているため、24年度はひょうごコミュニティ財団による助成を受け、演遊舎のみなさんをお呼びし、参加型の劇遊びを実施した。世界に引き込まれて、上手に自己表現することができていた。他者の発想に触れることで刺激を受け、発想力や創造力の育成に繋がった。



参加型の劇遊び

2. 自然体験の実施

ひょうごコミュニティ財団による助成を受け、しあわせの村で自然体験(デイキャンプ)を実施した。火起こしや調理体験を行う中で、仲間と協力することの大切さを学ぶことができた。その後アスレチック広場で友だちと協力しながら進む場面も多く、自然な形で助け合いの姿勢が育まれていた。



デイキャンプで BBQ

3. 外部の野外体験活動に参加

フリースクール小学校低学年部あかでみあ・ForLife 合同行事として特定非営利活動法人 CHILL によるスノーボード体験に参加。六甲山スノーパークの雪山は非日常的な光景で、自然への興味関心の刺激に繋がった。初めは不安そうだった子どもたちも、徐々に自信をつけ、仲間と励まし合いながら楽しみ、挑戦する心を育むことができた。



スノーボード体験

(2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

1. 放課後クラブについて

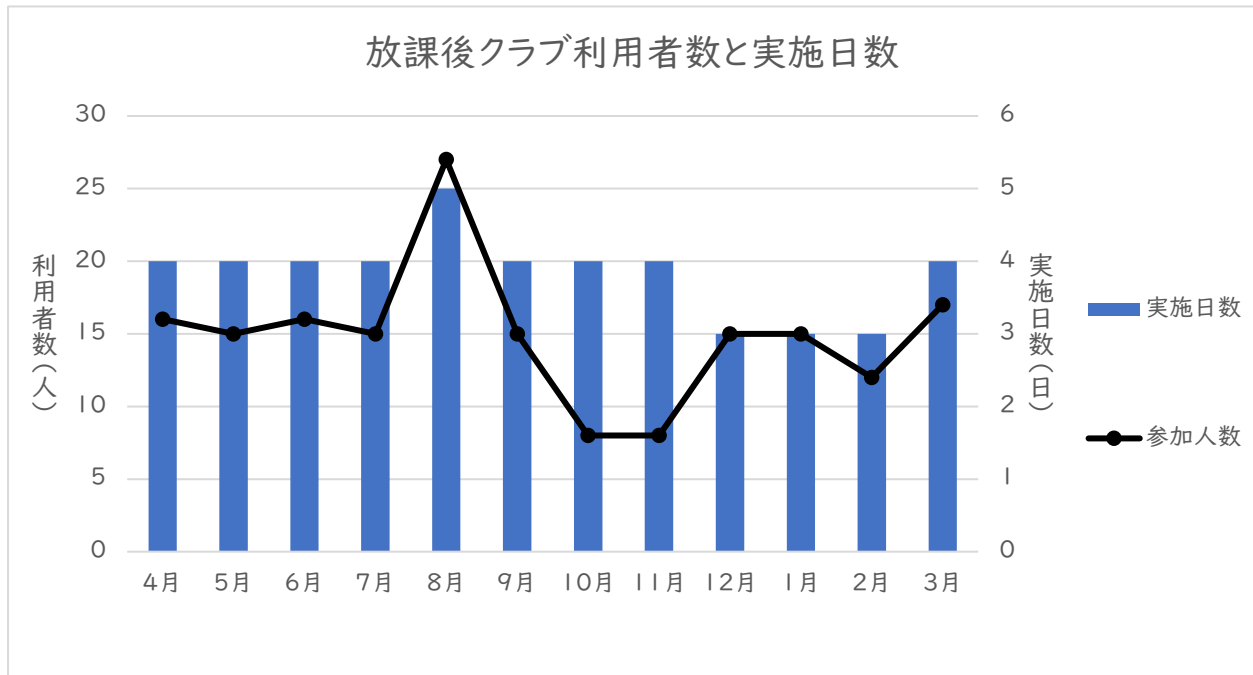
毎週土曜 10 時 30 分に開催し、年間でのべ45日、発達障害などの学びづらさがある小学生の学習支援を実施し、各回平均で約4名の利用者の支援を行った。また、夏休みには専門の講師を招いて「夏休み宿題やつけ隊」(作文・木工)を2日間企画・開催し、1日平均6名が参加した。

毎月の延べ利用人数は、図1の通り。



作文教室

(図1) 放課後クラブ利用者数



(3) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

1. 教育や不登校などの相談及び支援・情報提供活動について

当法人の多目的室(ルーム B)で、毎月第 3 土曜に一般公開で不登校親の会を開催。年間のべ12回の開催で、計72名が参加した。

団体季刊紙ゆう通信を発行し、年 4 回、1 回あたり約 200 通を作成、関係機関・会員などへ発送・情報の発信に努めた。また、WEB や SNS などのメディアでも、フリースクールの活動を中心に情報を発信・公開し、活動の透明性を高められるよう努め、当スクールに在籍しない不登校の子どもやその保護者を含め、学校外で学び育つ子どもの実態や取り組みについても発信した。発信回数等は表 2 の通り。

(表2) メディアの発信頻度

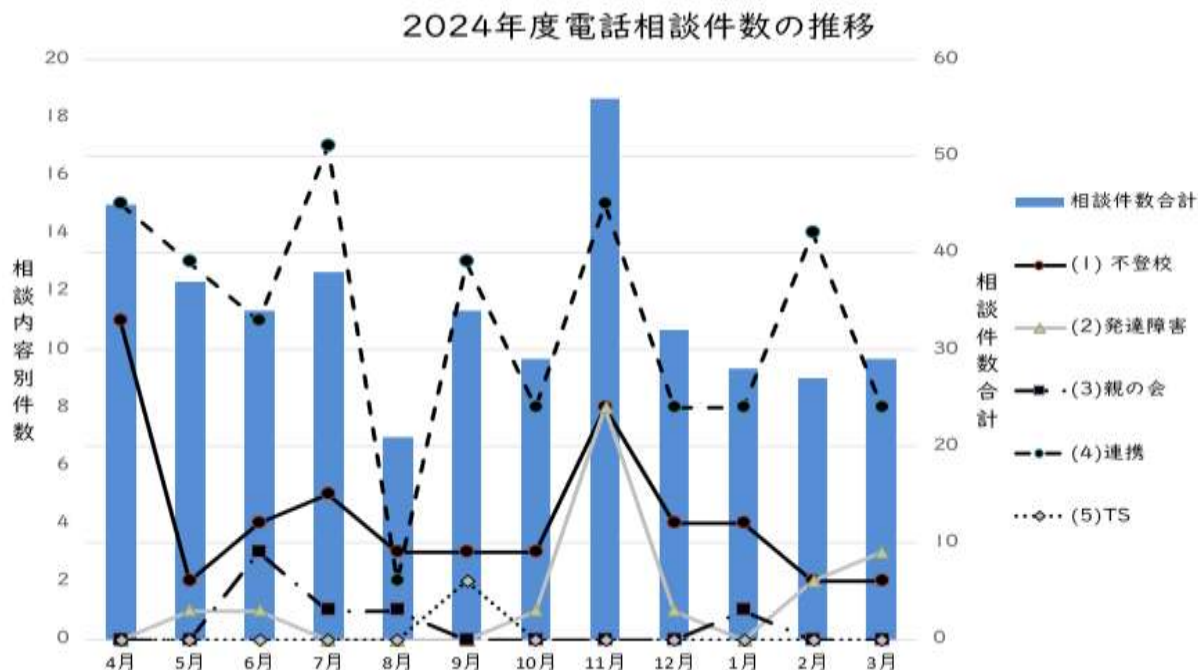
発信メディア	発信頻度	月平均	フォロワー/登録人数
X(旧 Twitter)	5 回/週	約 20 回	1,298 人
ブログ(CANPAN)	5 回/週	約 19 回	—
Facebook	5 回/週	約 17 回	824人
Instagram	5 回/週	約 17 回	429 人
YouTube	2回/年	約 0.1回	307人

2. インターンを受け入れについて

神戸学院大学・現代社会部から、実習生1名の受け入れ依頼があり、当法人のフリースクールで、4日間の教育・福祉実習の機会を提供した。

3. 日常的な相談支援について

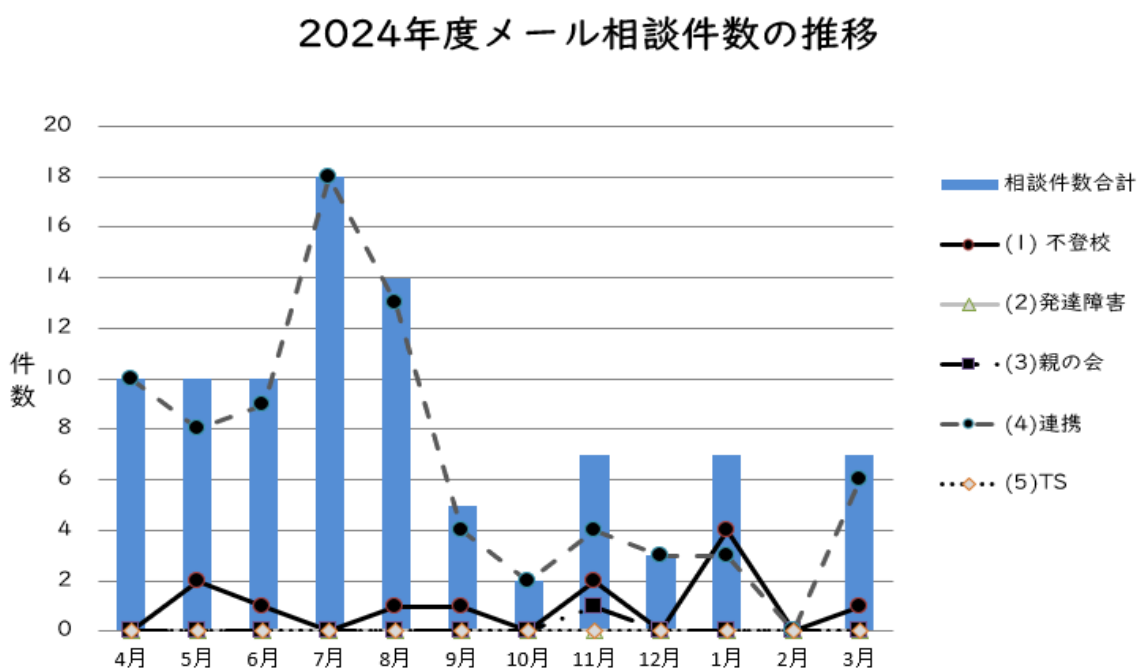
今年度の、問い合わせ・見学者・体験入学者・入学者数の、のべ人数と、フリースクール在籍者の月平均人数とその内訳、ならびに卒業者数ののべ人数は、表1の通り。



(表1) 本年度の相談件数ならびに在籍者数などの状況

問合せ件数	見学者数	体験入学者数	入学者数	在籍者数	卒業者数
のべ 46 人	のべ 36 人	のべ 10 人	のべ 5 人	※平均 23 人	のべ 12 人

(※在籍者数の内訳:小学生 12 人、中学生 11 人、高校生 0.0 人)



4. 親の会例会を毎月第3土曜日の午後2時から4時まで、8月を除く11回開催した。
今年度は隔年に行う「お母さんのための思春期講座」(全5回連続講座／講師：渡辺和美先生)
を、6月から11月まで開催し、延べ42人の参加があった。詳細は表1の通り。

実施内容		在籍者数
4月	親の会	7名
5月	親の会	7名
6月	親の会 お母さんのための思春期講座	7名
7月	親の会 お母さんのための思春期講座	7名
8月	世話人(山口さん)がシンポジウムに登壇	7名
9月	親の会 お母さんのための思春期講座	9名
10月	親の会 お母さんのための思春期講座	7名
11月	親の会 お母さんのための思春期講座	7名
12月	親の会(不登校訪問支援者の通称『なすびさん』をゲストに実施)	7名
1月	親の会	7名
2月	親の会(フリースchoolの卒業生2名を招いて、経験談)	9名
3月	親の会(お父さん2組を交えて「父親から見た不登校」)	6名

(表1) 親の会事業報告

上記のように単なる例会だけでなく、外部の方とか卒業生などを招いて、幅広く親の学習の機会と交流の場を持つことができた。

5. トワイライトスペースたるみ

家庭的にしんどい背景を持つ、子ども・若者(11歳～20歳)を対象として毎週月・木曜日16:00～20:00にプログラムを実施した。また、居場所の運営・利用者対応に加え、メール・電話・LINEによる相談と場合により行政機関との連携を行った。今年度は、より過ごしやすい環境にするため、ソファやコーヒーマーカーを購入し、カフェの要素を取り入れた。
平日に電話、メールによる相談を受けた。年間の相談件数と内訳や推移は、表1の通り。

(表1) 年間の相談件数と内訳・推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トワイライトスペース事業日数	6回	8回	8回	8回	7回	7回	8回	7回	8回	7回	7回	7回	88回
相談・利用者人数	2人	2人	0人	4人	0人	3人	3人	1人	1人	2人	0人	0人	18人
連携件数	2件	0件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件	2件	12件	0件	20件

【現状と課題】

今年度は、居心地の良い居場所になるように環境を充実させるなどの工夫を行ってきたが、やはり居場所の利用につながるまでが大きな課題となっている。相談では、昨年度から継続のケースもあるため、もう少し相談事業に力を入れるよう検討する。

(5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

1. 不登校・教育に関する施策への提言

フリースクール全国ネットワークなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」（教育確保法）の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会（神戸市／明石市／尼崎市など）との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。

登校拒否・不登校を考える全国ネットワークの夏の全国大会のサテライト会場を主宰、オンラインによる参加者を含め 300 余人の参加者があった。

2. 当法人の実績を活かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働・提案する事業

当法人の取り組みを通じて得られた教育・福祉・子ども・青少年などの分野の活動実績を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会の協働コーディネート事業を受託、福祉分野の広報を支援する事業やネットワーク、情報処理のインフラ構築業務などに従事した。

神戸市垂水区役所地域協働課の協働コーディネート事業を受託。神戸市垂水区内で、地域活動に取り組む非営利団体などの相談を受け、垂水魅力アップ活動助成・神戸市 NPO 等補助をはじめとする各種助成金の申請支援や運営相談に従事。当法人の活動で得てきた知見をベースに同助成受託団体の事業に対し、助言ならびに伴走支援を行った。

3. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

神戸市内の社会福祉協議会、神戸大学、地域活動団体から不登校や教育をテーマとした講演・講座の依頼を受け、当法人の職員が登壇した。また、神戸市内の公立中学校、明石清水高等学校などからの依頼を受けて、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマとしたワークショップを企画・開催した。

※2.3 の委託や講演等で得られた委託費、講演料、謝金は、当法人のフリースクールの運営を安定させるための財源として活用した。

第 1 号議案

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
I 流動資産			
(1) 現金・預金			
現 金	0		
振替口座(通知預金)	4,663,064		
普通預金 みなと銀行垂水支店	1,243,808		
普通預金 みなと銀行垂水支店(助成金)	3,882,149		
普通貯金 郵便局(一般)	1,228,216		
普通貯金 郵便局(助成金1)	0		
普通貯金 郵便局(助成金2)	0		
普通貯金 郵便局(放課後クラブ)	1,093,163		
普通貯金 郵便局(子ども貯金)	383,683		
普通預金 三井住友銀行垂水支店	0		
普通預金 近畿労働金庫神戸支店	0		
		12,494,083	
(2) 未収金			
神戸市地域課題解決に取り組むNPO補助金	200,000		
神戸市垂水区まちづくり課協働事業委託費	770,400		
		970,400	
流動資産合計		13,464,483	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	1		
(2) その他固定資産			
敷 金	250,000		
固定資産合計		250,001	
資 産 合 計			13,714,484
II 負債の部			
I 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
預り金 社会保険、所得税分	△ 284,304		
流動負債合計		△ 284,304	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			△ 284,304
正味財産合計			13,998,788

当法人の財産目録に相違ありません。

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

理事長 中林 和子

2024年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
I 流動資産			
現金・預金	4,663,064		
郵便局	2,705,062		
みなと銀行	1,243,808		
助成金口座	3,882,149		
三井住友	0		
近畿労働金庫	0		
未収金	970,400		
流動資産合計		13,464,483	
2 固定資産			
工具器具備品	1		
敷金	250,000		
固定資産合計		250,001	
資 産 合 計			13,714,484
II 負債の部			
I 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
預り金 社会保険、所得税分	△ 284,304		
流動負債合計		△ 284,304	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負 債 合 計			△ 284,304
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		12,863,900	
当期正味財産増加額		1,134,888	
正味財産合計			13,998,788
負債及び正味財産合計			13,714,484

2024年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
NPO会員 年会費5,000	90,000		
支援会員 年会費3,000	174,000	264,000	
2.受取寄付金			
一般	864,966		
20周年事業	0		
コングラント	126,000		
クラウドファンディング(ハブ・リックリーズ財団)	0	990,966	
3.受取助成金等			
神戸市青少年育成事業	200,000		
神戸市垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	693,000		
神戸市協働事業	770,400		
神戸市地域課題に取り組むNPO等補助金事業	200,000		
ひょうごコミュニティ財団	300,000		
居場所応援♡ギフト	100,000		
子どもの福祉のための助成	500,000	2,763,400	
4.受取補助金等			
善意銀行	50,000	50,000	
5.事業収益			
フリースクール事業	7,007,000		
フリースクール低学年部あかでみあ事業	1,340,500		
トワイライトスペースたるみ事業	0		
学習・コミュニケーション事業	165,500		
講座事業	347,472		
親の会・通信事業	53,800		
連携事業	0	8,914,272	
6.その他収益			
雑収入	51		
受取利息	2,635	2,686	
経常収益計			12,985,324
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
給料手当	4,187,890		
法定福利費	718,235		
通勤交通費	383,820		
人件費計	5,289,945		
(2)その他経費			
謝金	615,840		
子ども活動費	74,498		
子ども活動交通費	32,790		
消耗品費	185,503		
消耗備品費	302,573		
交通費	157,861		
通信費	144,149		
印刷費	75,664		
会議費	0		
賃借料	199,849		
新聞図書費	0		
水道光熱費	153,937		
交際費	8,481		
地代家賃	1,020,000		
保険料	108,336		
研修費	16,800		
雑費	781		
支払手数料	29,706		
租税公課	0		
修繕費	0		
諸会費	42,352		
広告宣伝費	49,200		
車両費	298,025		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	3,516,345		
事業費計		8,806,290	

2.管理費			
(1)人件費			
給料手当	2,159,911		
法定福利費	366,551		
通勤交通費	86,370		
人件費計	2,612,832		
(2)その他経費			
謝金	33,750		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	4,703		
消耗備品費	0		
交通費	25,089		
通信費	12,620		
印刷費	12,000		
会議費	0		
賃借料	32,290		
新聞図書費	0		
水道光熱費	17,104		
交際費	11,095		
地代家賃	240,000		
保険料	22,120		
研修費	0		
雑費	0		
支払手数料	4,343		
租税公課	0		
修繕費	0		
諸会費	0		
広告宣伝費	0		
車両費	16,200		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	431,314		
管理費計		3,044,146	
経常費用計			11,850,436
当期経常増減額			1,134,888
Ⅲ経常外収益			
1.過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
2.雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額			1,134,888
当期正味財産増減額			1,134,888
前期繰越正味財産額			12,863,900
次期繰越正味財産額			13,998,788

2024年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

1. 重要な会計方針
- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日・2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
- ⑴ 固定資産の減価償却の方法
- 有形固定資産は、什器備品については定額法で償却をしています。
- ⑵ 事業費と管理費の按分方法
- 事業及び管理業務の実際の占有時間をもとに、対象となる経費については原則8対2で案分しています。
- ⑶ 消費税等の会計処理
- 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	フリースクール事業	低学年部あかてみあ事業	twilightスペースたるみ事業	学習・コミュニケーション事業	講座事業	親の会・通信事業	連携事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費										
NPO会員 年会費5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	90,000	90,000
支援会員 年会費3,000	174,000	0	0	0	0	0	0	174,000	0	174,000
2. 受取寄附金										
一般	864,966	0	0	0	0	0	0	864,966	0	864,966
20周年事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コングラント	126,000	0	0	0	0	0	0	126,000	0	126,000
クラウドファンディング(パブリックリソース財団)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等										
神戸市青少年育成事業	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
神戸市垂水区社会福祉協議会協働コーディネーター事業	0	0	0	0	0	0	693,000	693,000	0	693,000
神戸市協働事業	0	0	0	0	0	0	770,400	770,400	0	770,400
神戸市地域課題に取り組むNPO等補助金事業	0	0	200,000	0	0	0	0	200,000	0	200,000
ひょうごコミュニティ財団	0	300,000	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
居場所応援ギフト	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
子どもの福祉のための助成	0	0	500,000	0	0	0	0	500,000	0	500,000
4. 受取補助金										
普恵銀行	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
5. 事業収益										
フリースクール事業	7,007,000	0	0	0	0	0	0	7,007,000	0	7,007,000
フリースクール低学年部あてみあ事業	0	1,340,500	0	0	0	0	0	1,340,500	0	1,340,500
トワイライトスペースたるみ事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学習・コミュニケーション事業	0	0	0	165,500	0	0	0	165,500	0	165,500
講座事業	0	0	0	0	0	0	347,472	347,472	0	347,472
親の会・通信事業	0	0	0	0	0	53,800	0	53,800	0	53,800
連携事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. その他収益										
雑収入	51	0	0	0	0	0	0	51	0	51
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	2,635	2,635
経常収益計	8,472,017	1,640,500	700,000	215,500	0	53,800	1,810,872	12,892,689	92,635	12,985,324
II 経常費用										
(1) 人件費										
給料手当	3,023,890	820,000	776,000	0	0	0	864,000	5,483,890	863,911	6,347,801
法定福利費	546,089	125,928	114,764	0	0	0	68,546	855,327	229,459	1,084,786
通勤交通費	329,758	36,510	26,784	0	0	0	9,232	402,284	67,906	470,190
人件費計	3,899,737	982,438	917,548	0	0	0	941,778	6,741,501	1,161,276	7,902,777
(2) その他経費										
謝金	261,840	20,000	244,000	55,000	0	35,000	0	615,840	33,750	649,590
子ども活動費	62,498	0	0	12,000	0	0	0	74,498	0	74,498
子ども活動交通費	29,980	2,810	0	0	0	0	0	32,790	0	32,790
消耗品費	145,613	16,048	23,080	110	0	652	0	185,503	4,703	190,206
消耗品費	53,183	110	249,280	0	0	0	0	302,573	0	302,573
交通費	78,411	4,580	54,280	10,960	0	9,630	0	157,861	25,089	182,950
通信費	130,659	4,980	8,510	0	0	0	0	144,149	12,620	156,769
印刷費	6,321	0	69,343	0	0	0	0	75,664	12,000	87,664
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	188,516	4,483	0	1,000	0	5,850	0	199,849	32,290	232,139
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	153,937	0	0	0	0	0	0	153,937	17,104	171,041
①ガス	13,836	0	0	0	0	0	0	13,836	0	13,836
②電気	131,727	0	0	0	0	0	0	131,727	0	131,727
③水道	18,216	0	0	0	0	0	0	18,216	0	18,216
④灯油	21,200	0	0	0	0	0	0	21,200	0	21,200
交際費	5,241	0	0	0	0	0	3,240	8,481	11,095	19,576
地代家賃	870,000	42,000	42,000	66,000	0	0	0	1,020,000	240,000	1,260,000
保険料	108,336	0	0	0	0	0	0	108,336	22,120	130,456
研修費	16,800	0	0	0	0	0	0	16,800	0	16,800
雑費	681	100	0	0	0	0	0	781	0	781
支払手数料	6,310	1,632	3,020	4,140	0	0	14,604	29,706	4,343	34,049
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	42,352	0	0	0	0	0	0	42,352	0	42,352
広告宣伝費	49,200	0	0	0	0	0	0	49,200	0	49,200
車両費	296,025	2,000	0	0	0	0	0	298,025	16,200	314,225
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	2,505,903	98,743	693,513	149,210	0	51,132	17,844	3,516,345	431,314	3,947,659
経常費用計	6,405,640	1,081,181	1,611,061	149,210	0	51,132	959,622	10,257,846	1,592,590	11,850,436
当期経常増減額	2,066,377	559,319	Δ 911,061	66,290	0	2,668	851,250	2,634,843	Δ 1,499,955	1,134,888
III 経常外収益										
1. 過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 経常外費用										
1. 過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産合計額	2,066,377	559,319	Δ 911,061	66,290	0	2,668	851,250	2,634,843	Δ 1,499,955	1,134,888

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	1	298,600	298,600	1		1
敷金	250,000	0	0	250,000	0	250,000
合計	250,001	298,600	298,600	250,001	0	250,001

4. 使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳

使途等が制約された助成金及び寄付等の内訳は下表のとおりです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末残高	備考
ひょうごコミュニティ財団	0	300,000	300,000	0	2024年度のあかてみあ事業に充当(2023年度に前受金として受領していた)
居場所応援ギフト	0	100,000	100,000	0	こどもたち(フリースクールForLife-あかてみあ)の活動費に充当
子どもの福祉のための助成	0	500,000	500,000	0	トワイライトスペースたるみの事業に充当
道隣寄付	1,800,000	0	300,000	1,500,000	寄付者のご遺志により、10ヵ年計画をたて、フリースクールForLifeならびに高校ステーションの事業に充当
普恵銀行	0	50,000	50,000	0	垂水区社会福祉協議会助成金/発達障害の子どもの学習支援事業に充当
コングラント	0	126,000	126,000	0	こどもたちの居場所(フリースクールForLife-あかてみあ)の支援として募り、運営費に充当
寄付一般(一部)	0	500,000	0	500,000	寄付(一般)のうち、500,000円は、垂水区内の企業から、こどもたちの居場所(フリースクールForLife-あかてみあ)支援のために受領、2025年度中に、使途(活用方法)を定める
クラウドファンディング(パブリックリソース財団)	44,895	0	0	44,895	「子どもを守る・自分を守るために学ぶ性教育と子どもの権利プロジェクト」の実施に必要な、費用の目標額210,000円をめざし寄付を募っており、目標額に達した時点で執行する予定
神戸市地域課題に取り組むNPO補助金	0	200,000	200,000	0	トワイライトスペースたるみの事業の充当
垂水区社会福祉協議会協働コーディネーター事業	0	693,000	693,000	0	垂水区社会福祉協議会との協働事業に充当
神戸市垂水区地域協働協議会事業委託費	0	770,400	770,400	0	垂水区地域協働課との協働事業に対し、当期に交付決定を受けた委託金770,400円は次期に入金予定です。ただし、このうち770,400円は当期に事業実施済みのため、当期の未収助成金として

2025年6月5日

監査報告書

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

理事長 中林和子殿

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

監事

近藤 新夫 

私は、特定非営利活動促進法第18条にもとづき、2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の、特定非営利活動法人ふぉーらいふの会務および財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令および定款に違反する事実はなく、2024年度の特定非営利活動法人ふぉーらいふの財産目録、貸借対照表、事業会計活動計算書は、適正なものと認めます。

■事業の方針

「子どもの権利条約」、および「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」にもとづき、当法人の定款第 5 条に定める 5 つの事業を実施することで、直接または間接的に、不登校状態にある児童・生徒の自主性を育み、社会的自立を支援する。

また、発達障害の子ども支援を行うほか、下記の新規・拡充事業にも取り組む。

注力する拡充事業は、次の通り。

- (1) **拡充** フリースクールに通う子どもたちの住む一部自治体で、公的な経済支援に差があることから、引き続き自治体の窓口に働きかけを行いながら、地域の様々な主体・個人からお寄せいただいた浄財を原資として、独自の経済支援や食支援を試みる
- (2) **拡充** 親の会たんぽぽ主催で、保護者を対象に公開親の会として「たんぽぽカフェ」（仮題）を開催する

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20 歳以下の子どもを含む)に対し、以下の形で体験型学習の機会を提供し、利用者の自己肯定感を高めるための支援を行う。

- ・小・中学生(最大定員 25 名)に対し、週 2 日、教科プリント学習、読書、WEBツール等を使用し基礎学習の支援を行うとともに、探求学習などのほか、個に応じた学びのサポートをする。
- ・高校生に対し、週 3 日、利用者所属の通信制高校(兵庫県立青雲高校ほか)のレポート課題の支援を行うとともに、個に応じた進路のサポートをする。
- ・体育館などの公共施設、おさんぽ畑、郊外の自然環境が豊かなフィールドなどで、子どもたちが身体および五感を使うことのできる体験活動を提供する。また、総合学習等(運動・音楽・芸術・調理ほか)の活動を月単位で企画・実施するほか、地域住民や団体等と協働し、子どもたちが地域で職業体験や社会貢献活動などができる機会を設ける。
- ・学校の年中行事として、野外活動、旅行、文化祭を行う。内容は子どもたちが主体となり企画・実施できるよう必要なサポートを行う。また、関西圏の各種民間スクールとの合同企画も行う。

小学校低学年向けフリースクール『あかでみあ』を開校し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」を軸とした学習の機会および居場所を提供する

- ・昨年度に引き続き、小学校 1～4 年生の子どもを対象とした『あかでみあ』を毎週木曜日に開所し、「学び」「遊び」「コミュニケーション」活動を軸にプログラムを実施する。フリースクール ForLife と同様、子どもたちが自由に自己表現できる居場所づくりを行う。
- ・「学び」では、子どもたちの興味関心に沿った調べ学習や、基礎学習(読み、書き、計算)プログラムを実施し、「遊び」では、公園や体育館など地域資源を利用した運動や、スクール内での遊びプログラム(昔遊びやアート等)を実施する。
- ・「コミュニケーション」では、生活体験や対話を通して他者の気持ちを考える機会や、ボードゲームなどを用いて、他者と交渉する、順番を守る、といった社会性や道徳性を学ぶ機会を提供する。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、不測の事態により、当フリースクールが長期休校を余儀なくされた場合は、フリースクール在籍者に向け、オンラインツールを活用し支援できるよう備える。

- ・ 不測の事態により、フリースクールが休校を余儀なくされた場合、オンラインツールの GoogleMeet を利用し、週に 2 日、オンラインスクールを開き、学習コンテンツの発信や、子どもたち同士、子どもたちとスタッフがコミュニケーション出来る機会を設ける。
- ・ 希望する子どもには、定期的に個別 GoogleMeet もしくは、音声通話などによりサポートする。
- ・ 休校期間中、ブログや SNS を利用し、学習コンテンツを発信し、ワークキット等、自宅で行う学習コンテンツを子どもたちに郵送するなど、学習の機会を確保する。

(2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援

小学生(発達障害の子どもを含む)の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。

- ・ 原則毎週土曜日の午前に、『放課後クラブ/くればす』を利用する子どもが学校の課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを継続して開設する。
- ・ 月に 1 度「カレーの日」を設け、子どもたちに料理プログラムを提供する。

(3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・ 関西の民間スクールが、合同で実施する勉強会やワーキンググループ等に参加し、職員が教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。

(4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

不登校等教育に関する相談および支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・ 平日に、電話とメールによる相談支援を行い、希望者には、対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・ フリースクール全国ネットワーク、ふりー!すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携し、団体情報を発信し、不登校や教育に関する情報交換に取り組む。
- ・ 年 3 回を目安に、不登校や発達障害に関する講演会もしくは研修会を自主企画、もしくは外部からの依頼をうけ職員が登壇する。
- ・ 大学生を対象としたインターンシッププログラムの受け入れ体制を用意する。また、近隣大学などの依頼があれば、内容を検討し、可能な限り随時受け入れを行う。
- ・ 年 3 回、1 回あたり 2~300 部、団体機関紙『ゆう通信』を印刷・発行し、NPO会員、支援会員、その他関係各所へ送付し、情報提供を行う。また電子版を WEB に公開する
- ・ 運営するWEBサイト、団体公式サイト、ブログ、Twitter、YouTube、Instagram、Facebook で情報発信を行う。各リンクは、昨年度にひきつづき、検索操作不要な下記の公式アプリに集約し、子ども・保護者の情報アクセス・利便性の向上をはかる。

【フリースクール ForLife 公式アプリ】

URL:<https://npoforlife.glideapp.io/>

右 QR コードでも表示できる



夕方から夜間にかけて、家庭に居場所がない子ども・若者の相談窓口『トワイライトスペースたるみ』を設置する。

- ・今年度からは、居場所事業は撤廃し、家庭で居場所がなく、自分ではどうにもならない生きづらさを抱える子ども・若者の相談業務に注力する。
- ・家庭で居場所がない子ども・若者（11～20歳）を支援対象とする。
- ・相談は、電話、メールとSNSアプリ『LINE』で受け付ける。
- ・相談者に、虐待やヤングケアラーなどの背景が見られる場合、適切な関係機関に繋ぐといったケースワークを行う。

(5) その他の事業

法人定款第3条の達成に必要な事業および(1)～(4)に附帯する事業として以下に取り組む。

1. 不登校・教育に関する施策提言にかかわる事業

- ・教育委員会や自治体との連絡会議などへ積極的に参加する。
- ・フリースクールの子どもたちが所属する、小学校・中学校の出席認定と、通学定期券の発行が認められるよう、関係団体と連携し、教育委員会や学校、行政などの窓口へ働きかける。
- ・フリースクール全国ネットワークの企画や情報交換の場に参画し、日本全国の不登校を取り巻く環境改善に取り組むほか、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの連携により全国的な親の会の情報や課題等を共有する。
- ・参画しているひょうごフリースクール等連絡協議会の主催で、子ども家庭庁より担当課を呼び神戸市と姫路市で2回講演会を行う。

2. 当法人の実績を生かし、行政や福祉分野などの多様なセクターと協働する事業

- ・兵庫県立青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・大学や各種団体から講師・講演依頼があった場合は、職員を派遣し、法人が蓄積したノウハウを地域社会へ還元し、間接的に学校外で学び育つ子どもに対する地域社会の理解を促進する。
- ・神戸市垂水区社会福祉協議会の委託を受け、福祉分野の広報支援やネットワーク構築の支援を行うため、毎週水曜日に、職員1名を神戸市垂水区社会福祉協議会へ出向させる。
- ・神戸市垂水区地域協働課のコーディネート業務を受託し、助成制度の周知・広報、採択団体の伴走支援を行うため、毎週月曜に、職員1名を神戸市垂水区役所内の地域協働課へ出向させる。

3. 当法人の実績を活かし、講演・講義などを行う事業

- ・2030SDGsを活用し、持続可能な開発目標を学び体験する講座を実施する。
- ・2を含むこれらの委託や講演・講師依頼で得た委託料や謝金等は、フリースクールを中心に、法人全体の各種事業の運営を安定させるため活用する。

4. その他関連事業等

- ・フリースクールに所属する子どもたちの活動を充実させつつ、スクールに所属しない不登校などの子どもたちも取り残さないよう、誰もが一般参加可能なプログラムを企画するため、常勤職員1人当たり1事業を目標に、民間企業等が公募する助成金事業に申請、財源確保に努める。
- ・職員やボランティアの資質向上のため内閣府・専門機関等が主催する研修会に参加する。

第2号議案

2025年度 活動予算書

科目・摘要		金額		
I 経常収益				
1 会費収入				
NPO会員 年会費	5000円	100,000		
支援会員 年会費	3000円	150,000	250,000	
2 受取寄付金				
一般		350,000		
20周年事業		0		
書籍出版		0		
パブリックリソース財団		50,000		
コングラント(年間サポーター)		135,000	535,000	
3 受取助成金等				
神戸市青少年育成補助事業		200,000		
兵庫県青少年本部事業		0		
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業		693,000		
神戸市垂水区協働コーディネート事業		857,000		
生駒温子助成事業		320,000		
安藤百福財団		200,000		
			2,270,000	
4 受取補助金				
善意銀行		50,000	50,000	
5 事業収入				
フリースクール事業		6,960,000		
フリースクール低学年部あかてみあ事業		1,672,000		
トワイライトスペースたるみ事業		0		
学習コミュニケーション事業		100,000		
講座事業		200,000		
親の会・通信事業		60,000		
連携事業		0	8,992,000	
6 その他の収入				
受取利息		1,500		
雑収入		0	1,500	
経常収益計				12,098,500
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給与手当		4,286,000		
法定福利費		1,200,000		
通勤交通費		490,000		
人件費計		5,976,000		
(2) その他経費				
謝金		620,000		
子ども活動費		100,000		
子ども活動交通費		40,000		
消耗品費		70,000		
消耗備品費		50,000		
交通費		50,000		
通信費		150,000		
印刷費		80,000		
会議費		50,000		
賃借料		200,000		
新聞図書費		10,000		
水道光熱費		160,000		
交際費		10,000		
地代家賃		1,020,000		
保険料		110,000		
研修費		30,000		
雑費		5,000		
支払手数料		30,000		
租税公課		0		
修繕費		0		
諸会費		50,000		
広告宣伝費		50,000		
車両費		300,000		
リース料		0		
減価償却費		0		
その他経費計		3,185,000		
事業費計			9,161,000	

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,510,000		
法定福利費	370,000		
通勤交通費	90,000		
人件費計	2,970,000		
(2) その他経費			
謝金	40,000		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	5,000		
消耗備品費	5,000		
交通費	25,000		
通信費	15,000		
印刷費	10,000		
会議費	10,000		
賃借料	30,000		
新聞図書費	5,000		
水道光熱費	18,000		
交際費	5,000		
地代家賃	240,000		
保険料	25,000		
研修費	10,000		
雑費	5,000		
支払手数料	5,000		
租税公課	1,000		
修繕費	0		
諸会費	10,000		
広告宣伝費	0		
車両費	20,000		
リース料	0		
減価償却費	0		
その他経費計	484,000		
管理費計		3,454,000	
経常費用計			12,615,000
当期経常増減額			△ 516,500
Ⅲ 経常外収益			
Ⅰ 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			
Ⅰ 過年度損益修正損	0		
2 雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増加額			△ 516,500
当期正味財産増加額			△ 516,500
前期繰越正味財産額			13,998,788
次期繰越正味財産額			13,482,288

第 3 号議案

役員改選について

2025 年 6 月 21 日をもって役員が任期満了となるため、以後の役員体制案について以下の通り提案する。なお役員の任期は定款の定めにより 2025 年 6 月 22 日～2027 年 6 月 21 日の 2 年間とする。

定款第 20 条により、今期が役員改選にあたる。

次期役員候補者は次の通り

理事候補： 足立 佳子氏
河合 将生氏
高宮 静男氏
田中まち子氏
中林 和子氏
羽下 大信氏
矢野 良晃氏

監事候補： 村上 義弘氏

トータルアドバイザー：當間 克維氏

2025年(令和7年) 6月 21日

特定非営利活動法人ふぉーらいふ

〒655-0022 兵庫県神戸市垂水区瑞穂通7-2

電 話 078-706-6186 (FAX共通)

メール forlife@hi-net.zaq.ne.jp

WEB <https://fsforlife.sakura.ne.jp>

ブログ <http://blog.canpan.info/forlife>

Twitter <https://twitter.com/npoforlife>

Facebook <https://www.facebook.com/npoforlife>

Instagram <https://www.instagram.com/npoforlife>

YouTube <https://www.youtube.com/user/FreeSchoolForLife>

【公式アプリアクセス QR】

